

O.S.P



VOL.13
August

{ OSPREY / SPIRITUAL / PERFORMER }

無料

ご自由にお取りください

韓国の超人気ターゲット
ソガリをも魅了する!!



腕利きプロスタッフが明かす必須ルアー

二羽の鶯の眼

若き検原湖マスター 山中湖最強の“帝王”
金沢俊祐 / 川上記由

The Kotaro's Maxims

ワームシングの極意を伝授!!

Keep it on the down low!!

—並木敏成が語るあのルアーの真実—
~ベントミノー~

O.S.P 動画

…▼…
随時更新!!

TOPICS

O.S.P初の
ポッパーが登場!!

ラウダー

LOUDER 70



O.S.Pプロスタッフが
ホームレイクを徹底紙上ガイド

The Field Guide

新進気鋭のプロガイド

~林晃大@野尻湖~

並木敏成&O.S.Pの最新情報はこちら。

並木敏成 ↓

O.S.P ↓



Photo by K.Kiridume

Journal

THE KOTARO'S MAXIMS



3インチから6インチまで、全4サイズを揃えるドライブスティック。用途に応じて多彩なラインナップを使い分けられるだけでなく、むしろ、他に類を見ない独自の自発アクションこそ支持される理由である。そんなドライブスティックにバックスライドに特化したモデルが登場。ここでは“ドライブスティックファット4.5インチ”についてその構造と使い方を川村光太郎が解説する。

ワーミングの極意を伝授!!

カバー撃ちを考えて、あえて長くしなかった

「重くするのであれば、単純に長くすればいい。全長を伸ばせば簡単に重くできますよね。しかしバックスライドをメインに考えたときに、長いかバーへ入れていくときに隙間に入れにくい。ブッシュの枝に当たって弾かれてしまったり…そこで長さそのままに、それでいてドライブスティックのベストアクションはキープ。すべてのバランスをとりながら肉付けをして完成したのが今のフォームです。よく見るとわかりますが、既存の4.5インチはわりとフラットサイドボディになっています。ファットについては断面で見ると下膨れのティアドロップ型。これが最もいいアクションが出ました」。



レングスは既存の4.5インチと同等。腹部に肉付けしたことによって、自重をアップした。またボディ側面は、フラットではなくやや丸みを帯びているのわかるだろう

背面からの比較。写真上がドライブスティックファット4.5インチ。既存の4.5インチはフラットなのに対し、ファットは光太郎が言う「下膨れ体型」になっている

バスがいそうなところに落とすだけ!!

「バスがいそうなところに自然に落とし込む。これが一番、釣れる使い方です。ワームが行きたいように泳がせる。こちらは引く張らず、ラインテンションをかけない。フリーに落とすことが一番です。ちょっとでもラインテンションをかけてしまうと、持ち味である自発的アクションが出たり、バックスライドの幅も短くなってしまふ。アタリを」とろうと思わずに、まずはフリーで泳がせる。これがドライブスティックファット4.5インチの基本的な使い方です」。



難しいことは何もなく、バスがいそうだとするところに正確に打ち込み、フォールさせるだけ。「食った瞬間、ラインが走ります。この気持ちいいバイトを、ぜひ体感してください!!」

現状、唯一無二のバックスライド系です

「フォール中に食うのがドライブスティックファット4.5インチのバックスライドなんですけど、フォールで食わせられなかったバスを、人為的な誘いで食わせることができるのです。ボトムについたら1回でもいいし、2回でもいい。小さく鋭く誘い上げてやるとキックバックする。まるで甲殻類が体を丸めてピンピンと跳ねるような動きです。フォールを追ってきたものの、食うのをためらっているバスには1回でもいいし、まわりにアピールするときはピンピンと数段階、跳ねさせてもいい。それでまたフォールさせる。このとき、左右に軌道をずらしながら落ちるので、ファーストフォールさせたまわりを一投で攻めることができます。現状、まだこの動きをするバックスライドワームはなく、唯一無二の存在ですね」。



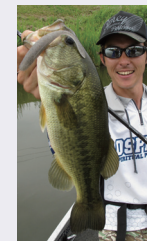
キャッチしたバスの口にはテナガエビの腕らしきものが見えていた。着底後、跳ねさせるような動きは甲殻類が体を丸めてピンピンと逃げていく様子を忠実に再現。ドライブスティックファット4.5インチならではの食わせ技だ

もちろん、頭からフックをセットしても使えます



状況に応じて、フックを頭から刺して使用するもあり

「ドライブスティックは本来、オフセットフックを頭からセットして使う、ソフトジャークベイトとして開発しました。もちろんファットモデルでも、オフセットフックを普通にセットして使うことが可能です。若干の個体差はありますが既存モデルが約8.4gに対して、ファットは約11.4gと自重が3gほどアップしています。これにより圧倒的な飛距離が出るため、これまで攻略が難しかったロングディスタンスのスポットを撃ち抜けます。またフォール時は痙攣するようなハイピッチなアクションを起こしながらほぼ真下に沈んでいくため、ピンスポットに潜むバスの攻略に最適。トウイチで寄せてフォールで食わせるという合わせ技ができるのは、ドライブスティックならではの」。



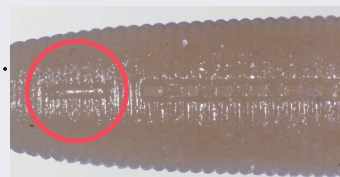
バスはバックから少し離れた杭にサテイングしていたため、ノーマルセッティングにスイッチ。杭に対してタイトにフォールさせ、見事バスをキャッチして見せた。さすが!!

スリットに設けたリブを活用してください

「太くしたことでフッキングが心配だったのですが、既存の4.5インチにもあるように、背中とお腹の両方にスリットを入れています。これによりフッキングの手助けをしているのですが、ファットモデルはハリ先がより出にくくなるので、スリットの深さに関しては非常に吟味しました。深くするとワームの自重があり、なおかつカバーにスキッピングで入れるなどハードに使うので、ハリ先が簡単に露出してしまふ。かといって浅くするとフックが通る部分の肉が分厚くなりすぎてハリ先が出にくい。フックのホールド力とフッキング、その両立を実現する深さにこだわりました。またオリジナルモデルと違う点は、スリット内にリブを



吟味したスリットの深さは、フックのホールド力とスナッグレス性の両立を実現。また既存モデルにはないリブを設けたことで、ハリ先の出し加減を調整できるようになっている



フックをまっすぐにセットすることではじめて、ドライブスティック本来のナチュラルロールアクションを生む。丸で囲んだ部分のセンターラインは、バックスライドセッティング時にオフセットフックを使用する場合のフックを抜く位置の目安

設けたこと。ハリ先をワームの背面ギリギリにもってきても、フックポイントのリブに隠せるのでスナッグレス性を上げることができる。このリブを設けたことで、用途に応じてハリ持ちのよさとスナッグレス性能の調整が利くようになっています」。

不自然なフォールにならないことが大前提

「ドライブスティックの一番の食わせどころはフォール。不自然に落ちてしまうと、食うバスも食わなくなってしまう。そこでフックをセットするときに、必ず守ってほしいのが推奨フックサイズです。フックがウエイトの役割を担うので、これは必ず厳守してください。また、まっすぐ刺すことも大事です。曲がってしまうと理想的なアクションがでないだけでなく、糸ヨレの原因にもなります。まずは下の図を参考に、まっすぐセットすることにこだわってください。あ、あと最初はストレートフックでのセットが、比較的簡単でおすすですよ」。

DoLiveStick FAT 100% 活用術

バックスライドセッティング	バックスライドセッティング	ノーマルセッティング
ストレートフック使用 ワイドグイブ 4/0 ~ 5/0 推奨 ※ズレ防止ストッパー付きが必要。 1 フックセット後にイメージし、フックをあてがいフックの刺し位置と抜き位置を定めます。 2 上記のイメージにそって、斜め下方向にフックを刺します。 3 フックを反転し、フックをあてがい刺し位置を定めます。 4 針先は出さず、スリットの薄膜一枚下で止めて完成!	オフセットフック使用 ワイドグイブ 4/0 ~ 5/0 推奨 1 フックセット後にイメージし、フックをあてがいフックの刺し位置と抜き位置を定めます。 2 フックをテール側から斜めに刺し始め、フックのクランク形状に合わせて刺し進めます。 3 フックを反転し、フックをあてがい刺し位置を定めます。 4 ポイントで示した箇所にあるセンターラインを自空にフックを抜き、スリット内のリブに針先を埋めて完成!	ノーマルセッティング オフセットフック使用 ワイドグイブ 4/0 ~ 5/0 推奨 1 頭中央よりフックを入れ、センターライン上に刺し抜きます。 2 フックをあてがい、刺し位置を定めます。 3 スリット内のリブに針先を埋めて完成!

光太郎がストレートフックを推奨するのはセットが楽だけでなく、フックポイントが上を向くことでより深く掛かるというのもその理由。「でも、ストレートフックの5/0って、なかなか持っている人が少ないと思うんです。オフセットフックの5/0ならドライブシャッドでも使うし、持っている人は多いかな、と。オフセットフックの場合はラインが斜め後ろから出るようになることと、クランク部を埋め込むことを前提に、ややテール側から刺しはじめることがポイントです」

item ブリッツMAX DR

ワカサギボールの真ん中を的確に通す!

今回のお話を聞いたとき、一番に思いついたルアーがブリッツMAX DRでした。8月と言えば夏真っ盛り! 私のホームレイクである山中湖でも水温はMAX級に上昇し、サマーパターンバリバリと言ったところ。山中湖はみなさんご存知の通りワカサギレイクで、バスはメインベイトとなるワカサギを追って行動します。8月になるとワカサギは沖で群れを作り、いわゆるベイトボールを形成するようになります。バスもこのワカサギの群れに追従し、沖でワカサギを捕食するようになります。ここをブリッツMAX DRで直撃するので、狙うポイントとしては当然、ワカサギの群れが多い場所となりますが、沖の地形変化が絡む水中島や水通しのいい場所はワカサギの群れも多く有力となります。キモとしては、ワカサギの群れに対し、キチンとルアーの泳層を合わせる必要があります、そのため、魚探でしっかりとワカサギのポジションを見極め、ルアーを確実に通すこと。ブリッツMAX DRの潜行深度は約4mほどですが、夏は中層に浮いていることが多いワカサギの群れにはちょうどよく、レンジが深ければ、細いラインを使えばより潜り、さらに潜らせたいときはドラッキングなんかも有効です。ブリッツMAX DRのメリットは固定重心ですので、一般的なクランクと違って余計なラトル音がなく、バスに対するプレッシャーを最小限に抑えられる点。ここは私が最も気に入っているところです。そのため、ハイプレッシャー下のトーナメントでも躊躇することなく投入でき、何度も助けられた信頼のおけるルアーのひとつです。今後もお世話になるでしょう!



ブリッツMAX DR



O.S.Pジグ04シンクロ

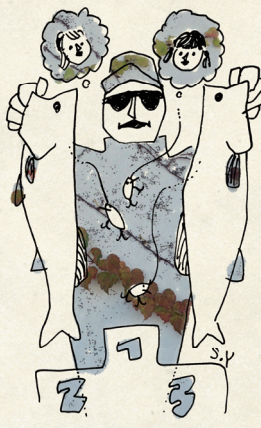
このコーナーでは、O.S.Pが誇るプロスタッフ陣が自身のホームレイクのシーズナルパターンをもとにこの時期に欠かせないアイテムとその使い方を解説。ぜひ参考にしてほしい。

8月の山上湖に不可欠なO.S.Pルアー

item O.S.Pジグ04シンクロ

すべての場所、あらゆるベイトにマッチ。

みなさんこんにちは。今回はボクのホームレイクである杣原湖の8月に、不可欠なルアーを紹介させていただきます。まず8月といえば夏! ですが杣原湖に代表される山上湖では夏はとても短く、そのためさまざまな状態のバスが混在しています。そこでウエイトやトレーラーを変えながら、さまざまな状況に対応できるO.S.Pジグ04シンクロが、ボクの中で欠かせないアイテムとなっています。8月の杣原湖といえばバンク、ウィード、ハンブ、そしてフラットなどバスの着き場は幅広く、エビや虫、ワカサギとベイトも実に多彩。そんな中、シャローのエビ食いバスには04シンクロの1g (FECO) or 1.8g にドライブローをセットし、落ち葉や枝などエビが好みそうなスポットに投入! バンクの虫食いには1gにドライブスティック3インチのスペック2をセットし、スローフォールで! ハンブ、フラットのワカサギ食いにはHPシャッドテールをセットして1.2~1.8gで中層スイミング、水深によって2.7~5gまでを使いボトムを切るように泳がせる! カラーはKTダークスモーク/コッパー&グリーンフレークが、あらゆるベイトに合わせやすくおすすめです。04シンクロはウエイトごとにガードが設定されているので、スナグレス性能が非常に優れております。引っ掛かることを怖れずカバーなどに絡めて使用できるのも、04シンクロの強みですね。このようになり使い勝手のいい04シンクロ。みなさんもぜひ、04シンクロで夏の杣原湖の釣りを満喫してみてくださいはいかがですか?



娘が「パパ!」と言い寄ってきてくれるうちは……

みなさん! ガンガンフィールドへ出掛けていますか!? 西のトシ()こと北山利通です。私はバスフィッシングとは別に本業があります。また、所帯持ちでもありますが、休日だからといって必ずフィールドへ出掛けたいのが現状です。仕事の関係上、休みは日曜日と祭日です。そして、10歳と7歳になる娘が二人います。子どもの成長は早く、「パパ! パパ!」と言い寄ってきてくれるのもあと数年かな? なんて思うと寂しくなります。今しか見れない子どもたちの成長……だから休日は極力、家族と一緒に過ごす時間を大切にしています! でも釣りにも行きたい!! まあ、そんな理由でなかなかフィールドへ出掛けられないのが実情です(笑)。さて、バスフィッシングの楽しみ方はいろいろとありますが、私の場合はトーナメントに出場しているときにドキドキ・ワクワク興奮するし、一番楽しいと感じます。欲を言えばいろいろんなトーナメントに出たい! 違うフィールドで開催されるトーナメントにも出てみたい! もっともつと充分な練習をしたいたい! などと思っておりますが、とにかく今は本業と、家族と過ごす時間が最優先です。それでも残された? 限られた中で、巧くタイミングを見つけ、トーナメントに出場してドキドキ・ワクワク興奮しています。明らかに練習不足の私に好成绩をもたらしてくれるO.S.Pルアーには本当に感謝です!

あなたなら、どうする? どうしてる? 全国のお父さん、お母さん様。釣りに行きたくても、自由に行くこと、出来ないままよな? それは釣り業界人として同じ。だから釣りに行く前には必ず、こんなことをしているのです……

O.S.Pプロスタッフ 北山利通さんの場合

釣りに行くためのOO……

PRESENT! event@o-s-p.net

O.S.Pバス02ビートを4名に!!

応募方法_希望者はメールにて、件名「O.S.P JOURNAL プレゼント係」とし、以下の項目にお答えください。



(O.S.Pバス02ビート)

- ①_このパンフレットをどちらのお店で手にしましたか
- ②_このパンフレットの率直な感想
- ③_このパンフレットに求める情報
- ④_釣り歴とホームグラウンド
- ⑤_O.S.Pで好きなルアー

以上5点の回答に加え、郵便番号、住所、氏名、年齢、職業、電話番号を明記し、ご応募ください。締切は2016年8月31日(土)。当選者の発表は発送をもってかえさせていただきます。

個人情報について_ご提供いただきました個人情報は厳重に管理し、賞品の抽選、発送および当選者への連絡に使用します。また、提供者の同意なしに業務委託先以外の第三者に開示・提供することはありません(法令等により開示を求められた場合を除く)

オリキンの

サーフェスドラ



ヒミツの小屋

ビッグミノーの先駆けであり、いまだに多くの釣果を叩き出しているルドラ130。バイトの仕方を見ても、本能的にバスのスイッチを入れていると感じざるをえません。そこで、表層付近でもこのルアーパワーを生かしたいと思ったのが今回のルドラサーフェス。リップを打ち直し、アイを移動させ、内部ウエイトを調整しました。一発勝負の改造でしたが出来映えは上々。このままでもいいですが、ペラを着けたり、リップを削ったり、いろいろと案はつきません! あー、楽しい!!



左がサーフェスドラ(オリキンtuned)、右がオリジナル。リップの角度の違いがわかるだろう

KEEP IT ON THE DOWN LOW

これは、ここだけの秘密

並木敏成が語るあのルアーの真実と

ということ

Theme

ベントミノールーズ

このパンフレットを手にした、あなただけが知っているあのルアーの真実と、本当の使い方。

曲がったボディが生み出す3Dアクションは ときとして最強の存在になるアイテムである

毎年、メーカー各社からさまざまなルアーが世に輩出されるが、月日の経過とともに使われる機会が減り、自然と淘汰されていくのが常である。しかし、今回ご紹介するベントミノールーズは2009年に86サイズを発売して以降、いまだにバスを釣獲する能力は衰えることを知らず、今でも魔法を使っているかのごとくアングラーにバスをもたらしている。これはベントミノールーズが他にはない特殊なアクションや能力を携えているからにはほかならない。

そこで今回は現在4サイズをラインナップするベントミノールーズがどんなときに有効となるのか。また、使いどころや状況に応じた使い方などについて解説していく。ベントミノールーズを持っていても、いまひとつハマる状況を理解している人も少ないだろう。そんなアングラーの教書になれば幸いだ。



ベントミノールーズは全4サイズをラインナップ。左から76、86、106、そして130。SW(ソルトウォーター)モデルでは106と130サイズを取り揃えている

ベントミノールーズはボイル撃ちで使うものだとして認識している方も多いだろう。ボイルが起きたとき、即座にキャストして連続的なアクションで食わせる。決してそれは間違いではないのだが、ただそれだけではあまりにももったいない。同じくボイルが起きたときにペンシルを投げるといふアングラーもいると思うが、ベントミノールーズはより細身でリアルシェイプ。これだけでペンシルよりも差がつく釣果を出すことは事実。しかしそれだけでなく、大きな違いは動きの質。ペンシルは左右、つまり横方向と前進の動きを出せるが、ベントミノールーズは左右、前進に加えて、上下方向と斜め上下方向にも動かせる。つまり3次元的アクションでバスに追われてパニック状態に陥っているベイトフィッシュの動きを模することができるのだ。



瀬死の小鱼を演出する姿勢と、バスに追われて逃げ惑うパニック状態のベイトフィッシュの姿を表現する3Dアクションが、ベントミノールーズの最大のセールスポイント。ポーズの「静」とアクションの「動」はフィールドおよびバスのコンディションによって使い分け

だが、先に「もったいない」と称したのは、ベントミノールーズのメリットはそれだけではないため。たとえボイルが起きていなくても、この3Dアクションとリアルなフォルムでじっくりバスに見せて焦らし効果も交えながら水面に誘い出す。これでもバイトに至らない場合はやや水面下にダイブさせることで、思わず口を使わせるといった使い方のほうがむしろ主になることのほうが多い。

使い方は大きく分けて3パターンが存在 これを使いこなせば最強の武器になる

ではベントミノールーズの具体的な使い方について紹介していこう。ま

ずは「ポーズ&トゥイッチ」。着水後、1~5秒ほど待って、次に数回程度のトゥイッチを加える。そしてまた1~5秒のポーズ。この繰り返し。トゥイッチを入れると3Dの動きを見せるのでバスに気づかせやすい。これでバスが浮いてきたあと、普通のルアーは先述したように動きは2Dであり、本物のベイトフィッシュのように自由自在に泳ぎ回る様を見せることができない。これに対しベントミノールーズはベイトフィッシュの動きに近い3Dアクションゆえ、例えばバスとにらめっこ状態になったとしても疑わせることなく口を使わせやすい。これを聞いて「意外とゆっくり使うものなんだな」と感じる人も多いのではないだろうか。

続いて「ロングポーズ」。セミや虫系のルアー、もしくはi-Waver 74Fと同じように、水面に浮かべて放置しておくだけでもバスをコーリングアップする能力は非常に高い。いわゆるデッドスティッキングと言われるテクニックで、30秒ほど放置したところでバスが浮いてくることも珍しくない。このとき風やさざなみ、カレントなどがあることでルアーがたとえゆっくりでも流されるようなコンディションが理想的。バスが浮いてきてそのまま食うこともあれば、食わずにUターンすることもある。そのとき、水中へと戻ろうとする瞬間に1トゥイッチ入れることで食うことも。ここで注意したいのが、この1トゥイッチでも食わなかったとき、決してここで諦めず放置しておくことで、一度見に来たバスが再び戻ってくることも多いのだ。こういったケースは水深のあるリザーバーでのラージマウスや、野尻湖および松原湖のスマールマウスでも見受けられる。単体で浮いてきたときよりも、複数匹で浮いてきたほうが食う確率が高いことは、覚えておいてもらいたい。またやり続けることで、どんなタイミングでトゥイッチを入れるとより高確率で口を使わせられるかが見えてくるだろう。

このロングポーズは、湖なら風通しのいい岬から風裏になる部分の境目や、水面を浮遊する小さなゴミや枯葉、泳力の弱い小さなベイトフィッシュが吹き溜まる潮目部分。川では本流と反転流の境目などがおすすめ。夏であればシェードを形成するオーバーハングなどでも成り立つゲームだ。そういったスポットで決してバスが見えていなくても、スローなアクションで一段下から浮かせて食わせることができるのは、ベントミノールーズゲームならではである。

もうひとつ加えて言うなら、ベイトフィッシュの産卵時期にも決して欠くことのできないラインナップであるということ。例えばワカサギレイクでは、産卵で弱り果てて水面に横たわるワカサギは、見た目はもちろん動きまでベントミノールーズそのもの。琵琶湖のコアユについても同様で、ベイトの産卵シーズンにはスーパーなテクニッ



ベントミノールーズの出しどころは決してボイル撃ちだけでなく、ときには30秒以上のロングポーズの瀬死アクションで誘い出すのも有効なテクニックだ



ベントミノールーズは韓国の超人気ターゲット、ソナリをも魅了した。このフィールドに長年、通い詰めている地元プロ目にしたことがないという驚愕のサイズをキャッチ!! ベントミノールーズ、恐るべし...

クであることも、ベントミノールーズを解説するうえで外すことのできない特記事項である。ちなみに産卵についてはベイトフィッシュだけでなく、バスのスポーニング前後、特にポストスポーニングのシャローに残った個体にも効果的であることも、同時に覚えておくといいたいだろう。

そして最後はパニックアクション。冒頭でも少しご紹介したが、ボイルシーンに遭遇したら即座に投入したい。このとき、気を付けたいのはキャストする場所。ボイルを直撃するように入れるのではなく、ベイトおよびバスの進行方向の1mほど先に入れ、そこから高速トゥイッチで食わせるのだ。もちろんボイルはしていないものの水面直下にバスがいるときにも効果的で、ここでも素早いトリッキーアクションでバスのスイッチを入れ、食わせることだってできる。こう考えると本当に、ベントミノールーズは多芸の持ち主だ。

これら3タイプのアクションをバスやフィールドのコンディションによって使い分ければ、自ずとベントミノールーズの出どころというものが見えてくるだろう。

決してボイル撃ちやクリアウォーターのみならず、このルアーではなく、たとえばカスミ水系のアシ際や流入河川、消波ブロック帯などでも実績が高いことも追記しておこう。

フッキング率を高めるテクニックと 並木式フックのチューニング

細長いシェイプのルアーにありがちな、フッキングミス。トゥイッチしているときにバイトさせると、フッキング率は下がってしまう。したがってバスが食うタイミングにルアーのアクションを一瞬、止めてやる。そのほうがバスにとって、ルアーをしっかりとくわえ込む間ができるのだ。例えばボイル撃ちのときにルアーを高速で動かし、バスもそれに追従してくる。このとき、そのままアクションをさせ続けるのではなく、一瞬の間を与えて食わせることも多い。またポーズからの数回トゥイッチで浮いてきたバスが、Uターンしようとしたときに仕掛けるトゥイッチは1回が基本。2回目のトゥイッチでバスが食ってしまうと、ルアーが動いているためフッキングミスにつながりやすい。バスがベントミノールーズの至近で注目しているとき、

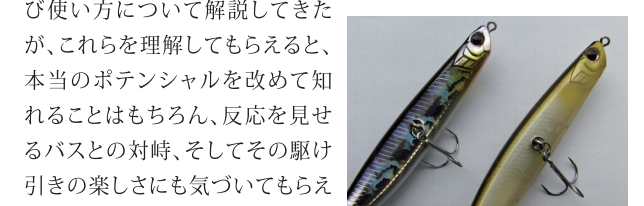
自分は1トゥイッチ後のポーズで確実にくわえ込ませることを心掛けている。

また状況によって、ベントミノールーズ86であれば速掛(FINA)の#8に、ベントミノールーズ106では速掛#6に替えてみるのも有効。ただし速掛はショートシャックという点もあって、スプリットリングを連結してフックをセットするというチューニングもときに行っている。ショートシャックではないフックにおいても、2連結にすることでフッキング率は上がりやすい(これはベントミノールーズに限らず、細身のルアーにおけるフッキング率アップに効果的)。

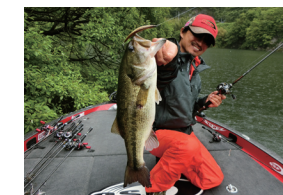
このスプリットリングの連結については、ルアーとそれに装着されているフックのサイズ感によって起こる問題ではあるのだが、キャスト時にフックポイントが背中に回り込んでしまい、ロックしてしまうというトラブルの解消にも役立つ。スプリットリングの連結によって自由度ができるため、仮にフックがルアーの背面でロックしてしまっても、アクションを介することで解除される。覚えておいて損はないテクニックである。

ベントミノールーズの出しどころ、および使い方について解説してきたが、これらを理解してもらえると、本当のポテンシャルを改めて知れることはもちろん、反応を見せるバスとの対峙、そしてその駆け引きの楽しさにも気づいてもらえると思う。ルアーとバスの両方を視界に収めながら、どこでどう動かせば食うのか、それとも見切られるのか。その緊迫感あふれる勝負は、ベントミノールーズならではの楽しさといっても過言ではない。ぜひ、お楽しみいただきたい。

ベントミノールーズの出しどころ、および使い方について解説してきたが、これらを理解してもらえると、本当のポテンシャルを改めて知れることはもちろん、反応を見せるバスとの対峙、そしてその駆け引きの楽しさにも気づいてもらえると思う。ルアーとバスの両方を視界に収めながら、どこでどう動かせば食うのか、それとも見切られるのか。その緊迫感あふれる勝負は、ベントミノールーズならではの楽しさといっても過言ではない。ぜひ、お楽しみいただきたい。



背中にフックポイントが引っ掛かってしまった場合でも、スプリットリングを連結することでクリアランスができ、ワンアクションでロックを解除できる



早明浦ダムでのロケ前日、フィールドコンディションのチェック時にキャッチした50cmアップ。ロケ本番でもベントミノールーズが火を噴いた(釣りビジョン・Osprey's eye #30参照)

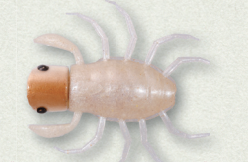
Field Guide

福島県松原湖と並ぶスモールマウスの聖地。表層の虫パターン発祥の地とて過言ではなく、どこからともなく現れたスモールマウスが水面を割るシーンは興奮必至。ラジマウスにはないトルクフルなファイトは、一度味わうと病みつきに！ 夏でも涼しく、避暑地としても人気の湖。

案内人はこの人

はやし こうだい
林 晃大

山口県出身で、夏場は野尻湖に拠点置きガイドを行っている。若さを感じさせない丁寧な解説に定評があり、リピーターが多いのもうなづける。ライトリグからパワースタイルまであらゆる釣りを習得しており、状況に応じて的確にアドバイス。今回のロケでも次々とバスをキャッチして見せた。ガイドの詳細はこちら→<http://yaplog.jp/koudai/>



《野尻湖おすすめルアー①》

オリカネ虫

虫パターンの定番。ロッドをシェイクして水面に波紋を立てて、バスに存在を気づかせる。ときおり引いて、またシェイクの繰り返し。見えバスに対しては泳ぐ先にキャスト。水質がクリアなため姿勢を低くし、バスに余計なプレッシャーを与えないことが食わせのキモ

ほとり荘

林晃大のガイドの拠点となっているボート店。本格的なバスボートから免許不要の小型艇まで多彩なボートが揃っている。また併設する湖畔の宿もあり、泊まりで楽しみたい向きにはぴったり。レンタルボートの利用者には宿泊割引のサービスも。問い合わせ:026-258-2606



⑤ 寺ヶ崎

岬状の地形が沖に向かって張り出しているスポット。ここも水中島と同じように、輪切りにするように探っていく。岬の両サイドは深く落ち込んでおりスポットの幅が狭いため、先行者がいないときを狙って入る。風がないときは沖でボイルが起きることもあるので注意。また禁漁区の際の内側へのキャストは禁止されているので、こちらも注意が必要



⑥ 縦ヶ崎

この南東側に位置する竜宮崎の次に、湖に向かって長く張り出している岬。水通しがよくベイトも多く回遊してくる。岸側は急深な地形になっており、風が当たっているときはチャンス。先端に行くほどハードボトムになっているため引掛かりやすく、ライトキャロでじっくり攻めたい。岬先端のブイと沖にある三角形のブイの間は観光船の航路になっているため釣り禁止



⑦ 漁協前フラット

水位にもよるが狙う水深の目安は夏の前半なら7~9m、後半はやや深くなり8mを中心に。これは季節の進行とともにベイトのレンジが下がるため。ここもワカサギが魚探に映し出されればチャンス。ワカサギの群れにつくバスの姿が魚探で確認できれば、リグをボートの真下に落とすシューティングも有効だ



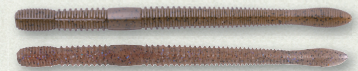
⑧ 青学ワンド

隣の針ノ木ワンドと並ぶ、林晃大の中の虫エリア。春先には表層系の釣りで楽しめるという。このエリアはセミの合唱がひととき大ききだけでなく、バスがバンク沿いを回遊している姿も見受けられる。また風でできた湖目にバスがうろろうしていることもあるので、目で見て探すこともある。針ノ木ワンドは最奥が遊泳場となっているので釣りは禁止



《野尻湖おすすめルアー④》

ドライブクローラー3.5インチ



◀晴れたタイミングでグリーンバンプキン(写真上)にチェンジすると一発で食ってきた。ローライトではネオンワカサギ(写真下)をチョイス

ダウンショットワッキーにセットして使用。ワッキーリグで水を押し、ワカサギの群れを散らすことをイメージ。シューティングで真下に落とすとして食わせることも

《野尻湖おすすめルアー⑤》

ドライブクロー2インチ(ライトキャロ)

ワカサギと同じぐらい、野尻湖のメインベイトとなっているのがエビ。ワカサギの群れについている個体でも、釣り上げるとエビを吐くこともあるという。ずる引きの際は1回に引くストロークを短くすることで、急深なバンクも丁寧に探ることができる。キャロのシンカーは3.5gが基準



⑨ 弁天島(北面)

ここも虫パターンの定番スポット。沖に大きくオーバーハングした木があり、そこから落ちてくる虫をバスが待っている。ほとり荘の目の前と近く、小型レンタルボートでもアプローチしやすい人気エリア



⑪ プリンスワンド

虫が止まる木が多く、ここも虫パターンをやるうえで見逃せないスポット。針葉樹よりも広葉樹が多いほうが虫も止まりやすく、虫パターンがハマるエリア選びの基準となる。枯葉が浮いているところもおすすめ(※写真はナシ)

⑬ 竜宮崎

野尻湖の中で最も規模の大きな岬。地図を見てもわかるとおりかなり沖まで張り出しており、水通しがよく、風が吹くとカレントも発生する



野尻湖のシズナルパターン 8月はシャローとディープの両極端

夏真っ盛りの8月。標高が高い野尻湖は下界に比べると比較的涼しく、避暑地として人気のエリアでもある。とはいえ、やはり夏。水温は20℃後半まで上昇し、まわりを木々に囲まれているため、そこらじゅうでセミの声が聞こえるだろう。そんな8月の野尻湖において、どこを攻めればいいのか。

「基本的にはシャローの虫パターンとディープという、両極端の攻めが要求されます」と林晃大は言う。セミの鳴き声が聞こえるということは、中には水面に落ちる個体もいて、それを狙うスモールマウスも出てくるという図式が成り立つ。またワカサギを捕食する個体はその群れを追って7~9m、ときには10mや11mまで落ちるといふ。この「両極端」を攻めるのが、夏の野尻湖攻略のキモ。お盆を過ぎるところから虫パターンは終息。ディープ一本勝負となるのが例年の流れだ。

① 弁天島東

ほとり荘の目の前にある島の東側。魚探をかけるとわかるがハンブ状に盛り上がった岩のようなものが映る。それが狙い目。ここにバスも映るようなら期待度大。島の内側(北側)は浅く、このあたりを境目にプレイクになっているため、ワカサギも多い。ライトキャロやフットボールがおすすめ(写真の左に見えるのが弁天島)。島と対岸のバンクもチェック!



美しい金色の魚体とパワフルな引きを堪能しに来てください!!

② 水中島

琵琶ヶ崎と縦ヶ崎の延長線上にある縦長の水中島。島のまわりは10m以上と深く、トップで水深4m前後(7月6日時点の水位)。岩盤質でライトリグだとすぐに引掛かってしまうため、ここではドライブスティック4.5インチファットのノーシンカーをチョイス。風が強ければジグヘッドリグでもOK。島を端から順に、輪切りにしていくように攻めよう。風が当たる面はチャンス

③ 亀石

小さく張り出した岬状の地形。ここに岩や木が入っている。深いところはハードボトムになっていて、ライトリグでは引掛かりやすいため注意が必要。シーズンでは引掛かりやすいため注意が必要。シーズンを通してバスをストックしており、ベイトフィッシュも多い。定番スポットゆえにプレッシャーも高いので、狙うなら朝イチがベスト



④ 松ヶ崎

こちらも夏から秋の定番スポット。ワカサギにつくバスがターゲットで、回遊してきて一時的にステイする場所となっているようだ。基本的な考え方は亀石と同様だが、エリアはこちらのほうが広いので、バスがまったくないことはあまりなく、この中のどこかにいる可能性が高いという。ベイトがいるかどうかを魚探で確認してからキャストするほうが効率はいい



アフター以降、「デカリグパターン」と林が称する、やや大きめのワームを使った釣りでデカスモールが反応するというワ



《野尻湖おすすめルアー②》 ドライブスティックファット 4.5インチ

今回は風が強かったため、ドライブスティックファットのフック部分にシンカーをかまして使用。ノーマルのスティックよりも表面積があり、しっかり水を押してくれるため、ノーシンカーでも使いやすい

《野尻湖おすすめルアー③》

03ハンツ11g(FECO)+ ドライブスティック4.5インチ

ボトムを感じながらズルズルと引いてくる。木や岩に引掛かったときは丁寧にほぐすように外し、再びズルズル引く。リフト&フォールでは持ち上げたあと、ラインを貼らず緩めずのテンションでキープしながらフォール。バイトを感じたら、スラッグを回収してフッキング!



野尻湖には季節によって遊泳場が設けられ、その周辺は釣りが禁止される。それ以外にも写真のようなブイがあるところでは、その内側へのキャストも禁止されているので注意しよう

⑪ プリンスワンド

この夏は野尻湖へぜひ遊びにきてください!!

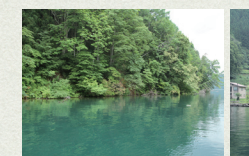
③ 亀石

この夏は野尻湖へぜひ遊びにきてください!!



⑩ 砂間ヶ崎

エリア名に「崎」がつくものの、そんなに大きく張り出していないが、急深な地形変化はバスもベイトも好むところ。ここに沈んだ木や岩が絡んでいる。野尻湖では午後から吹くことが多い北風のときはチャンス



⑫ ラフィーネ前

右写真の奥に見える建物がラフィーネ(現在は廃業)。ここも虫パターンのおすすめエリア。ロケ当日も風によって流されて溜まる枯葉の下をうろろうしているバスの姿が見受けられた。左写真を見てわかるように水面に大きく張り出した木があり、そこから落ちてくる虫を待っているバスも多い



ドライブスティックのノーシンカーを使用しているときに、気を付けたいのがフッキング。アタッても即アワセせずに、クラッチを切って十分に持って行かせてからフッキング。「10~15秒ほど待つこともあります。テールだけをくわえて走っていることも多いので」

- 遊覧船航路(航路上釣り禁止)
- 国際村夏期禁漁区(6/15~9/15)
- ⊕ 遊泳場・夏期禁漁区(6/15~9/15)
- ⊖ 禁漁区